

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。
※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。
※取扱説明書に記載のイラストはすべてイメージです。

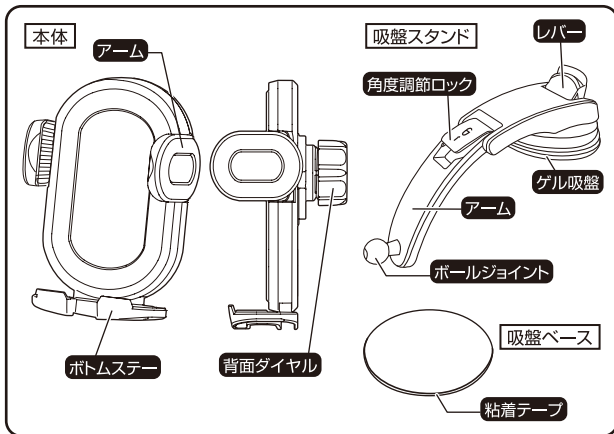
はじめに

安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりとお車に取り付けられているかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する充電機器も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

セット内容

本製品の構成と名称



-1-

お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

警告

- 走行中の運転者による本製品及びスマートフォンの操作や画面の注視は、交通事故の原因となりますのでおやめください。
- 本製品はしっかりと固定してください。固定されずに走行すると、脱落による交通事故や故障、破損等の原因になります。
- 本製品を取り付ける際は安全の為、運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けしてください。
- 本製品及びスマートフォンの取り付けは、正しく行ってください。誤った取り付けをされますと、スマートフォンの故障の原因になります。
- 本製品の分解、改造等は絶対に行わないでください。故障、破損の原因になります。
- 運転操作の支障がないように取り付けしてください。交通事故や本製品の故障、破損の原因になります。吸盤のはがれ・脱落にともなう取り付け機器・お車の内装の破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

注意

- お車の振動や使用環境等により徐々にゲル吸盤の吸着力が弱くなる場合があります。定期的を確認し、必要に応じて再度、取り付け直してください。
- 付属の「吸盤ベース」を必ず使用してください。また、吸盤ベースは粘着テープでの貼り付けが必要になるため、布生地、革(合成皮革含む)、塗装面、凹凸が大きい車種には取り付けできません。
- 長期間使用しない場合には、お車から取り外して直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ゲル吸盤の吸着力が低下した場合には、吸盤を水洗いまたは湿らせた不織布などでホコリを拭き取ることで元の吸着力に戻ります。その際にはベンジン、シンナー等の溶剤類や洗剤を使用しないでください。
- 本製品を取り外した際、車種及び取り付け位置によっては、取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り残し跡が残る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 取り付けの際に、ウインカーレバーやシフトノブ、スイッチ等の操作に影響がないかをご確認ください。また、エアバッグ作動時に影響しない場所に取り付けください。
- 炎天下や直射日光の当たる場所での長時間の駐車など、本製品を取り付けたスマートフォンに過度の熱を持ってしまふような状況の場合、スマートフォンの故障や本製品の脱落等を防ぐ為、一時的に本製品よりスマートフォンを取り外してください。
- 各部の調整後はしっかりと締め付け、又はロックさせてください。不十分ですと加減速時などに本製品が倒れるなどして、スマートフォン車の内装や本製品の破損の原因となります。
- アームやボールジョイント部分に物をかけたりしないでください。
- ダッシュボードの材質および特殊コーティングによって貼り付きにくい素材がございます。しっかりと貼り付かない場合は使用しないでください。
- 取り付け後は本製品及びスマートフォンへ無理な力を加えないようにしてください。本製品及びスマートフォンの破損の原因となります。
- 林道等の未舗装路や岩場、悪路など条件の悪い場所や減速帯等の凹凸がある路面での走行の際には、スマートフォン及び、本製品の破損や脱落を防ぐ為、一時的に本製品よりスマートフォンを取り外してください。
- 紫外線の影響によりご使用が短期間であっても退色する場合があります。
- 上記の警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用・分解・改造(ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む)をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

-2-

開封と内容物の確認

取り付けに関するご注意

- 必ず車を安全な場所に停車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 吸盤は何れも取り外しが可能ですが、「吸盤ベース」は貼り直しできません。
- 本製品「吸盤ベース」の取り付け面は、曲面でない直径約8cm以上の貼り付け面が必要です。
- ※吸盤ベースの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対におやめください。
- あらかじめ「吸盤ベース」取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- 運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けしてください。本製品の取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。
- 本体や吸盤で角度を調節し、設置場所の予備検討を予め行ってください。

取り付け位置について

本書及び本製品のパッケージに記載の取扱説明に従われない場合など、誤ったご使用での事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

国土交通省の定める「道路運送車両の保安基準」の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の前方視界を確保することが義務付けられています。本製品(およびスマートフォン・タブレット類)を取り付ける際は、下図を参考に、運転者の前方視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準(抜粋) ※2024年12月調べ

1.対象車種

- 専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く。)
- 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車(いずれも使用過程車を含む。)

2.適用時期:平成17年1月1日より

3.基準概要

(1)要件

- 自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用い直接視認できること。)

(2)適用除外

- Aピラー(窓枠のうち車両前にあるもの)ファイバー及びステアリングホイールにより死角となる部分。

※いずれの基準も左ハンドルの場合には左右逆となります。

前方視界基準エリア

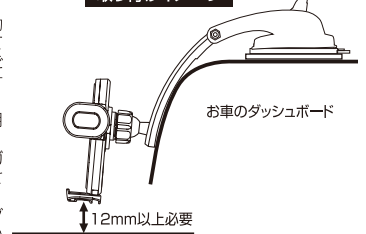
- 高さ1m、直径0.3mの円柱

-3-

お取り付けになる前に

- 本製品可動部の角度を調節し、設置場所のシミュレーションを行ってください。ボトムステーは可動するため、ボトムステーの下に12mm以上のスペースが必要となります。(図1)
- 充電用ケーブルを接続する場合は、コネクタの寸法/形状もご確認ください。(図1)
- 運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けしてください。本製品のお取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。
- 付属の「吸盤ベース」を必ず使用してください。
- 法令に違反しますのでフロントガラスには取り付けしないでください。
- 吸盤スタンドのアームがお車のダッシュボードに接触するように取り付けしてください。

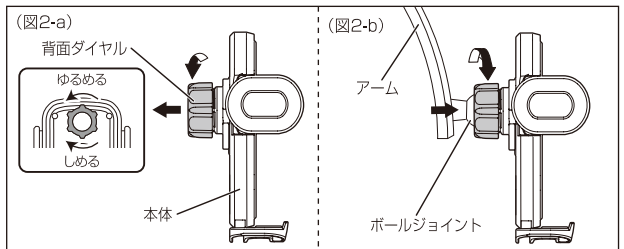
取り付けイメージ



取り付け・使用方法

「ホルダー本体」と「吸盤スタンド」と「吸盤ベース」の組み立て

- 下図を参考に「ホルダー本体」と「吸盤スタンド」を組み立ててください。
- 本体裏面の背面ダイヤルを本体裏面側から見て反時計回りに回してゆるめてください。(図2-a)
- アームのボールジョイント部分を内側の穴に合わせてカチッと音が鳴るまで奥へはめてください。はめたまま、背面ダイヤルが止まるまで本体背面側から見て時計回りに回してしてください。(図2-b)



-4-

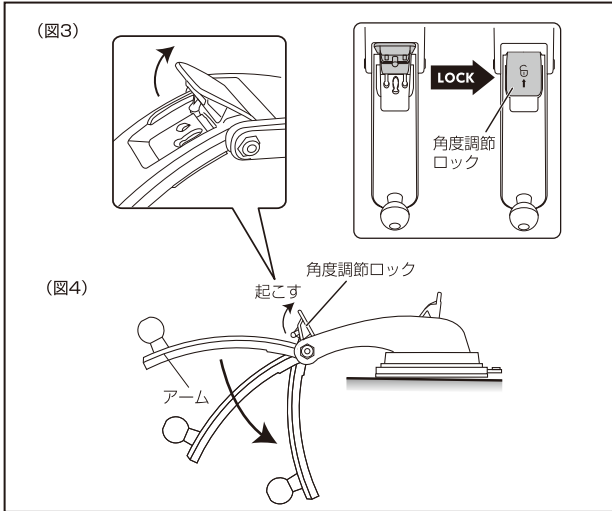
吸盤スタンドのアームの角度調整の方法

■アーム調節方法

- 角度調節ロックを起こすとアームの角度を調節できます。(図3)(図4)

角度調整の方法

- 取り付け位置を仮決めし、角度調節ロックを起こしてアームを可動させることで好みのローポジションの位置に仮止めし、ダッシュボードのどの位置に取り付けるかを決めてください。(図4)
- ※アームを可動させる際は、必ず両手で調節を行ってください。



吸盤ベースの取り付け

- ※ゲル吸盤は何度も取り付け・取り外しが可能ですが、「吸盤ベース」は貼り直しができません。
- 本製品「吸盤ベース」の取り付け面は、曲面でない直径約8cm以上の貼り付け面が必要です。
- 最初に「吸盤ベース」取り付け場所の汚れ、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- ※10℃以下の低温時や真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合は、接着力が得られない場合がありますので避けてお取り付けください。

-5-

使用方法

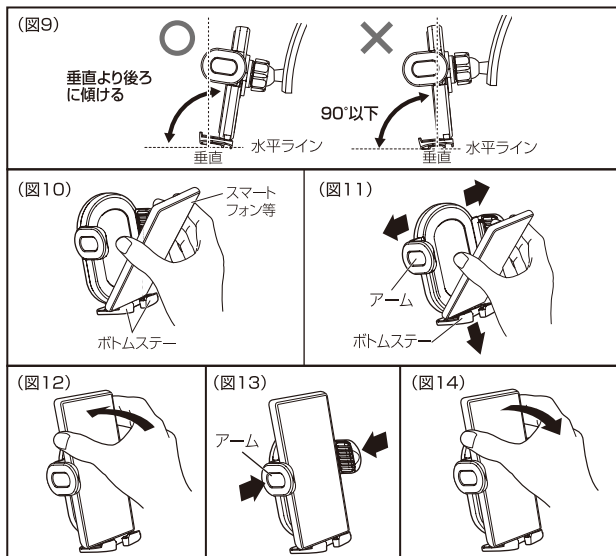
- ホルダーの角度が垂直より少し後ろに傾くように調節してください。(図9)
- ※背面ダイヤルをしめつけた状態で角度調節は、故障や破損の原因となりますので絶対におやめください。
- ※背面ダイヤルは定期的に確認し、必要に応じて、再度増しめをしてください。
- ※揺れ防止の為、可動しにくいポイントがあるので、注意して調節してください。

<スマートフォンを置く>

- ポトムステーにスマートフォンをのせて(図10)、軽く下に押し下げてください。ポトムステーが下がると、連動して左右のアームが開きます。(図11)
- スマートフォン背面をホルダーにあててください。(図12)
- 手をはなすと左右のアームが閉じてスマートフォンをホールドします。(図13)
- ※スマートフォンを収納した際、不安定な場合には収納しないでください。

<スマートフォンを取り外す>

- スマートフォンを持ち、そのまま手前に傾けるようにして取り外してください。(図14)

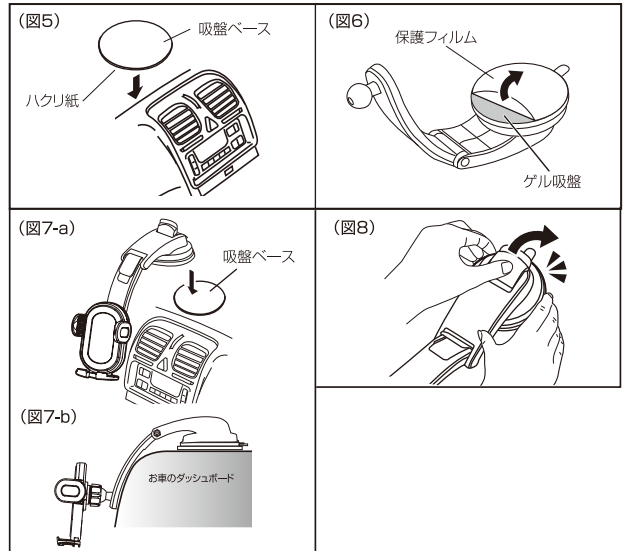


-7-

- 吸盤ベースの貼り直しは接着力が低下します。脱落の原因になりますので絶対におやめください。
- 吸盤ベース裏面の粘着テープのハクリ紙をはがしてしっかりと貼り付けてください。(図5)
- ※圧着がたりないと脱落のおそれがあります。
- ※貼り付け後は十分な接着力を得るために24時間放置してから本体の取り付けを行ってください。

吸盤スタンドの取り付け

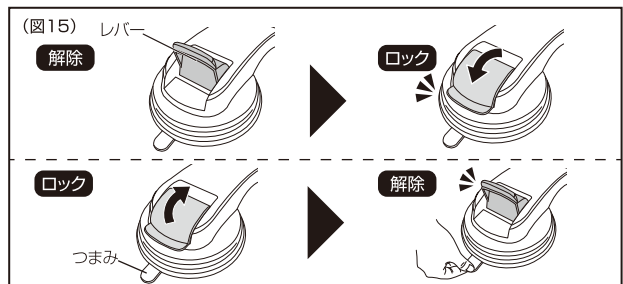
- ゲル吸盤裏側の保護フィルムをはがしてください。(図6)
- 貼り付けた吸盤ベースにゲル吸盤を吸着させてください。(図7-a)
- ※吸盤ベースの貼り付け直後にゲル吸盤を吸着させないでください。吸盤ベースが剥がれるおそれがあります。
- 吸盤スタンドのアームをお車のダッシュボードに接触するように調節してください。(図7-b)
- 片手で本体をしっかりと押さえて、ダッシュボード面に対して下に押し付けながら、もう片方の指でレバーを押し下げてロックしてください。(図8/図15)
- 本体を軽く前後・左右に力を加えて、しっかりと固定されているかをご確認ください。



-6-

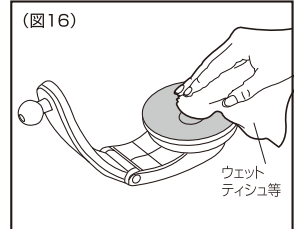
吸盤スタンドの取り外し方

- 吸盤スタンドのレバーを上を持ち上げてロックを解除してください。吸盤ベースと取り付け場所が吸着していますので、吸盤スタンドのつまみ部分を手で持ち上げながら取り外してください。(図15)
- ※レバーは勢いよく跳ね上がりますのでご注意ください。



ゲル吸盤の粘着力が弱くなったときは

- ゲル吸盤面はホコリ等により粘着力が低下します。水洗い、水拭き、ウェットティッシュ等で吸盤面の汚れを拭き取ることで粘着力を回復することができます。(図16)
- ※水洗いの場合、十分に乾かしてから使用してください。



▶ 本製品に関するお問い合わせは ...

☎ 0570 (039) 710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)

〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

-8-